

# 【交流センターの将来像を考えるワークショップ】 開催報告

令和7年3月 自治デザイン課

| 1 開催日時等       |               |                   |               |  |
|---------------|---------------|-------------------|---------------|--|
| 【開催日】         | 【時間】          | 【開催場所】            | 【参加人数】        |  |
| 令和6年11月30日(土) | 午後1時30分から午後4時 | 磐田市役所本庁舎 4階大会議室   | 32名           |  |
| 令和6年12月 5日(木) | 午後6時30分から午後9時 | 福田中央交流センター 2階大会議室 | 14名           |  |
| 令和6年12月 8日(日) | 午後1時30分から午後4時 | 福田中央交流センター 2階大会議室 | 20名           |  |
|               |               |                   | 計66名 (内公募10名) |  |

| 2 参加者                         |
|-------------------------------|
| 交流センター利用者、地域づくり協議会役員、市民(一般公募) |

| 3 概要  |
|---|
| 23交流センターのうち、多くが昭和50年代に建設され、老朽化が進んでいる。今後、交流センターの将来を見据えた施設の更新、長寿命化、複合化の方針を定める個別計画の作成が必要となる。市民の皆さんに交流センターの現状を理解してもらいながら、将来像について、意見交換を行うワークショップを開催。交流センター開設までの経緯、現状(利用者数、施設の維持管理費等)について説明。その後、5~6名に分かれてグループワークを実施。「これからの交流センターのあり方を考えよう」をテーマに、ハード面(交流センターの施設維持について)ソフト面(交流センターの有効利用)について、グループで話し合いを行い、グループごと発表を行った。 |

## 4 グループワークで出された意見(総数462件)

テーマ1 交流センターの施設維持について  
(このまま施設を維持する? 必要に応じて再編・統合することも必要?)

### ① 【現状維持】の主な意見

#### 地域活動拠点

- ・地域の交流の場として必要。
- ・市が「地域活動の拠点に」と整備してくれた交流センター。地域活動を一生懸命やっている。拠点として必要。
- ・交流センターは現状維持を基本。地域のコミュニティを壊さない。地域コミュニティの規模はどれくらいが適当か考える。

#### 地域性

- ・地域性もある為、今のままリメイクして安全に使用出来れば良い。
- ・地域性があるので現状の交流センターでよい。
- ・それぞれの施設のカラーがあるので維持は必要。

#### その他

- ・人口が減り交流センター利用者が減る頃には地域づくり協議会も見直す。その頃まで延長して使う。
- ・一時的避難できるスペースのある施設は維持。特に津波想定地域の避難場所は確保。
- ・他と合併すると遠くなり利用できなくなる。

### ② 【再編・統合】の主な意見

#### 他施設の活用

- ・小学校や中学校の中に入れる。
- ・民間の閉店した店舗の活用。
- ・ららぽーとやスタバなど人が集まる施設に入れてもらう。
- ・民営化によると創意工夫事業や仕掛けが生まれるのではないかな。

## 中学校区、学府で再編

- ・小学校区→中学校区への再編。
- ・中学校区を中心とした交流センターの再編成をしながら施設の充実を。
- ・学府ごとに1交流センターへ統合をして欲しい。
- ・人口比率により統合するセンターを考える。

## 交通手段の確保

- ・各交流センターへの移動の足を考える。
- ・交流センターが減っても行きやすい交通手段を確保。
- ・地域の人が歩いていける距離に交流センターがあること。

## 住民の意見を聞いて

- ・統廃合するなら、長い時間をかけた話し合いが必要。
- ・維持、統合については、隣接地域の住民を主体とした話し合いが大切。
- ・建替えの時に地域の声を聞くことを大切にして欲しい。

## テーマ2 交流センターの有効利用について

(有効な使い方は? 利用を広げるために必要なことは?)

### 主な意見

#### ①講座・イベント

- ・交流センター利用者の交流会。
- ・若者が交流できる 定期的なイベントを開催。
- ・異文化・多文化交流が出来るように。
- ・シニアが参加しやすいイベント作り。
- ・低学年の子供達のイベントを増やす。
- ・30代40代が使用しやすい時間空間、講座内容。

#### ②施設の充実

- ・Wi-Fiの充実。
- ・スマートロック化。
- ・ユニバーサルデザイン、誰でも使いやすいバリアフリーなど。
- ・駐車場の拡大。
- ・トイレは全面的に洋式に改造が必要。

#### ③開館時間・休館日・使用料

- ・休館日をなくし、いつでも利用可能にしてほしい。
- ・使える時間増して欲しい、夜とか朝も使用できるように。
- ・減免基準見直し。使用料でまかなっていくようにしていく必要がある。

#### ④システム予約

- ・スマホが出来ない人の支援、予約がスムーズにできる様に。
- ・利用時間の細分化。
- ・申し込みが簡単になった。スマホで申し込みできる。
- ・予約なくても使えるスペースがあるといい。現状あるところは限られている。
- ・部屋が空いていたら予約不要で使えたらよい。

## ⑤子どもたちの居場所

- ・放課後児童クラブのように子どもたちが使用できる場所に。
- ・児童が集まる場所 地域の方で見守る場所に。
- ・子どもが好きな事を継続して学んだり練習したりできる場所に。
- ・子どもと高齢者が交流できる場所に。

## ⑥周知・PR

- ・センターの活動を周知(やっていることの周知をする。やっていることがわからない)
- ・SNSの活用(各交流センター公式LINE インスタを利用)
- ・アンケートの実施(課題が見つかる)

## ⑦こんな使い方、活動がしたい

(飲食スペース)

- ・カフェがある。
- ・お酒を飲める場所があってもよい。
- ・ランチのできる場。

(行政の窓口)

- ・「行政の窓口」の機能の充実。
- ・転入者の自治会案内 見守り・学童保育など。

(こんな場所・こんな場所になれば)

- ・気軽に寄ってお話したり勉強したりできる場所。
- ・20代～30代の出会いの場。
- ・悩みの意見交換の場所。育児の悩み等。
- ・地域の人との交流・対話により知り合いになれる場所。
- ・宿泊とか合宿に使用。

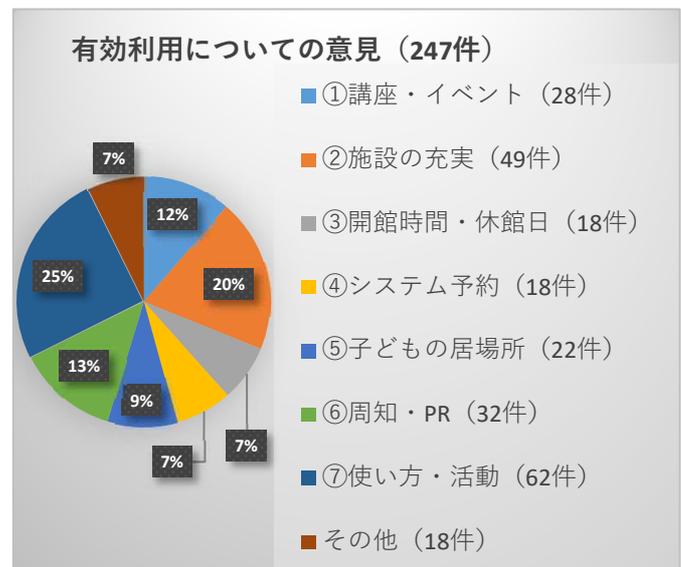
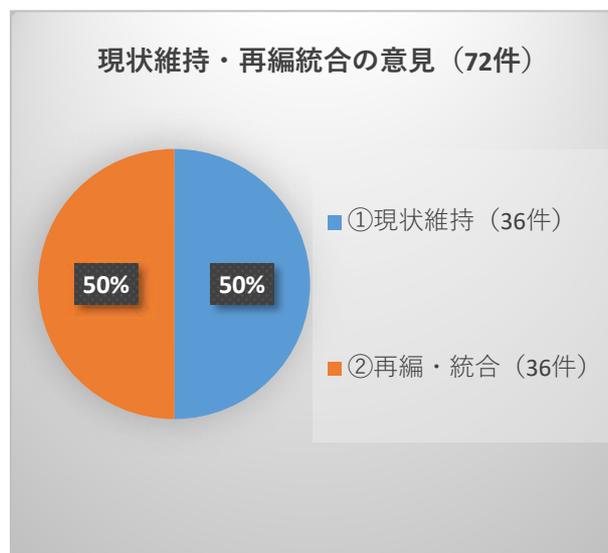


ワークショップの様子

## 5 まとめ

【テーマ1】 交流センターの施設維持について

【テーマ2】交流センターの有効利用について



- ・現状維持と再編統合の意見は同数となりました。
- ・現状維持の意見: キーワードとして、「地域の活動拠点」「地域性」のワードが多く出ました。
- ・再編・統合の意見: 将来的には施設の維持管理の面から、再編・統合も必要になる。学校、民間施設の活用や、中学校区、学府での再編を検討。センターへの交通手段の確保。住民の意見を聞き、話し合いが必要。
- ・有効利用の意見: 施設の充実、周知・PRについての意見が多く出ました。使い方・活動については、参加者それぞれ思いのある意見が多く出ました。